

## 頻発する国内自然災害－損保各社の財務への影響を注視

以下は、最近の国内自然災害の発生状況を踏まえた損保各社の格付への対応についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 日本国内において自然災害が頻発している。18年には7月に西日本豪雨、9月に台風21号、24号など被害の大きい自然災害が発生し、19/3期の国内風水災等（地震を含まない）の支払保険金額は過去最大規模となった。19年においても、すでに9月の台風15号、10月の19号と規模の大きい台風が複数接近・上陸している。特に18年の台風21号や今般の19号のように「数十年に一度」と言われる甚大な被害をおよぼす規模の自然災害が比較的短期間に発生している点が注目される。JCRでは、国内自然災害の規模と頻度について、気候変動の影響を含めて、引き続き注意深く見守っていく。
- (2) 損保各社は、大規模自然災害にかかる発生保険金について、再保険金の回収や異常危険準備金の取り崩しなどによってカバーすることで、一定の利益水準を確保してきた。20/3期においてもこれらの対応を迫られることになる可能性があり、JCRでは損保各社の財務への影響を注視していく。もともと、損保各社は資本基盤などを背景に格付相応の財務の健全性を有している。JCRでは、各社の格付水準や格付の見直しを直ちに変更することは、現時点では想定していないが、今後、各社の格付見直しのタイミングで検討していく方針である。

(担当) 宮尾 知浩・阿知波 聖人

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル